

大腸がん検診におけるPay For Success 事業の事例

株式会社キャンサーズキャン

代表取締役社長 福吉 潤

株式会社キャンサーキャン

2

会社概要

- 2008年創業／従業員数約250名
- 予防医療分野において行動変容を起こす事業
 - ・ がん検診や特定健診の受診率向上事業等
 - ・ 2022年度は全国700以上の自治体から事業を受託

PFS分野の実績

- 日本第1号のSIB案件・大腸がん検診受診率向上事業を八王子で実施
- 初の広域連携のSIB事業・大腸がん検診受診率向上事業を広島県で実施

日本人のがん死亡

	<u>1位</u>	<u>2位</u>	<u>3位</u>	<u>4位</u>	<u>5位</u>
男性	肺	胃	大腸	肝臓	膵臓
女性	大腸	肺	膵臓	胃	乳房

大腸がんの患者数 26万人

出典：「がんの統計2019」 公益財団法人がん研究振興財団

5 7 0 0 億円の医療費

出典：平成30年度 国民医療費の概況、厚生労働省

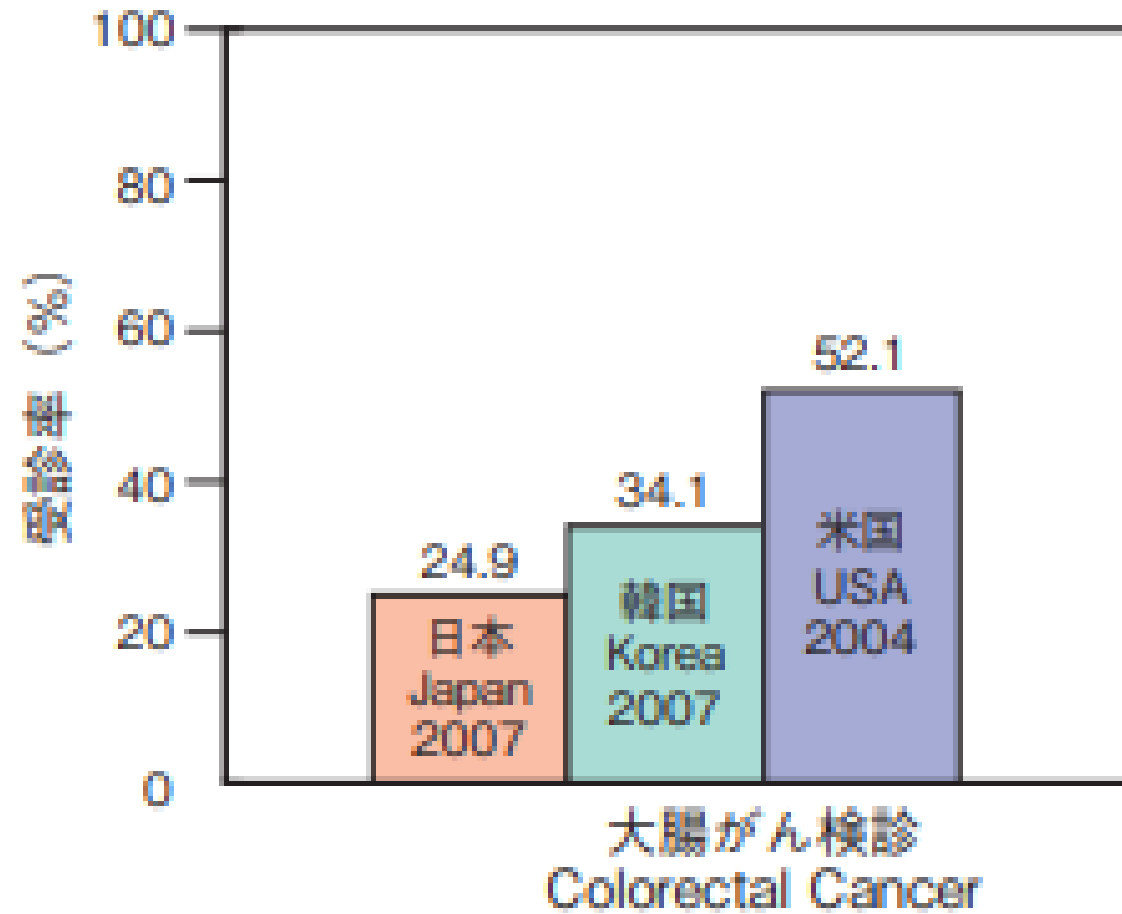
一人当たり医療費

- ・ 早期の大腸がんの医療費： 213 万円
- ・ 進行した大腸がんの医療費： 830万円
(転移がんの医療費を含む)

* 八王子市のレセプトデータ分析より

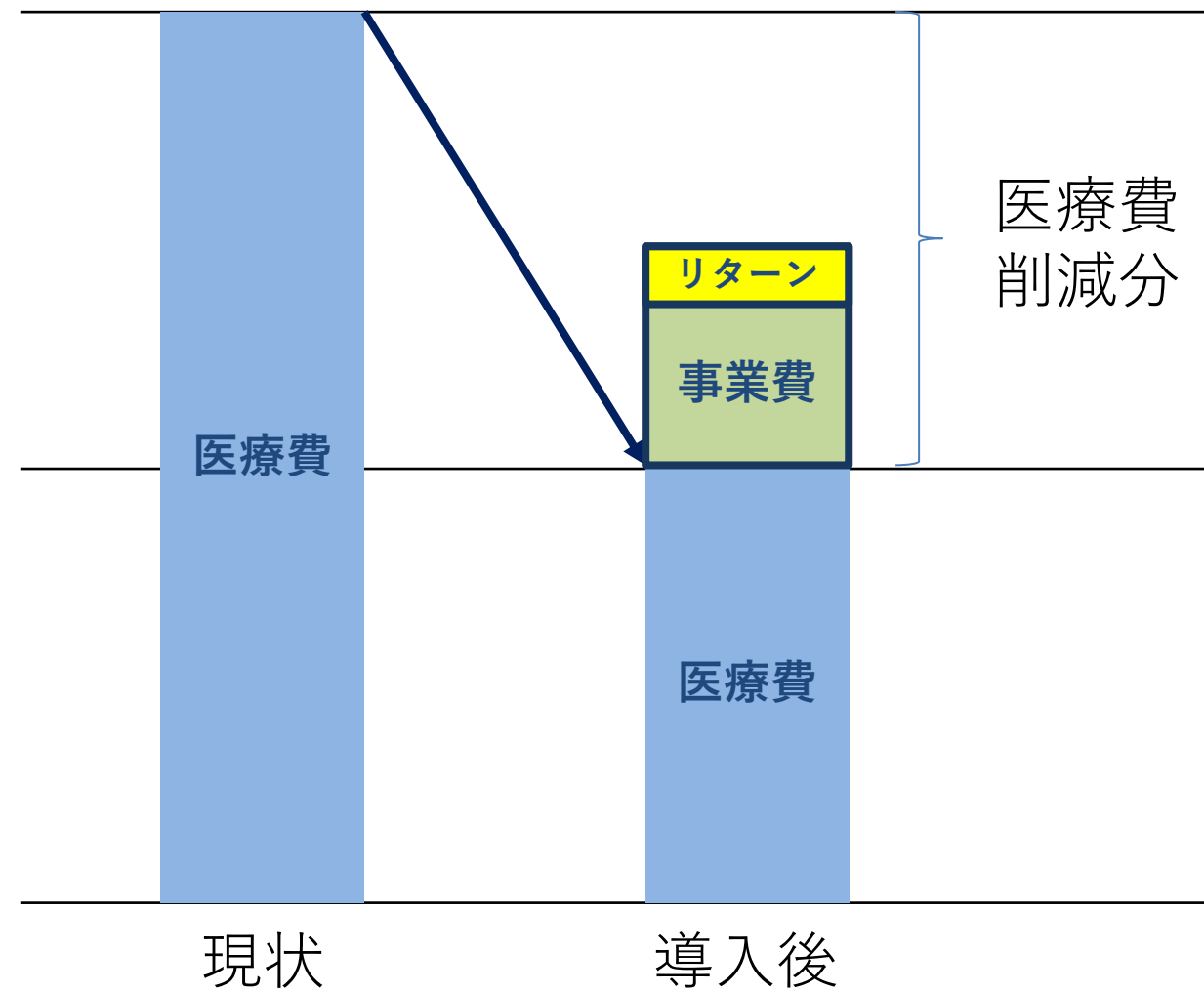
https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/hoken/kennsinn/p023983_d/fil/daichou-iryouhi-hikaku.pdf

早期発見の状況： がん検診受診率 (2009年)



出典：がんの統計 2009

ソーシャルインパクトボンド（SIB）による 事業実施



個人の大腸がん リスクに合わせて カスタマイズ

氏名 山田太郎 様

生年月日 昭和30年8月1日生

あなたの過去の生活習慣に関する問診結果から最新の研究で確認されている大腸がんにかかるリスクを特定しました。

リスク要因	あなたの問診結果	大腸がんとの関連
60歳以上	✓	確実
飲酒	✓	確実
BMI高い		ほぼ確実
運動不足	✓	ほぼ確実
喫煙		可能性あり
検診未受診	✓	確実

「確実」「ほぼ確実」「可能性あり」とは研究結果の信頼性の強さを表しています。

大腸がん検診を受診してください



日本では約11.5人に1人が大腸がんにかかると言われています。大腸がんは検診で早期発見できれば約90%以上が治癒します*。

*大腸がん治癒率(5年生存率)国立がんセンターより

研究結果
確実

がんの罹患数は60歳代で40歳代の約6.7倍にも上昇します。歳を重ねるほどに大腸がんにかかる可能性は確実に上がります。

(国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策情報センター)

加齢

研究結果
確実

1日あたりの平均アルコール摂取量が23g以上(日本酒1合、ビール大瓶1本程度)飲む人は、お酒を飲まない人と比べると大腸がんにかかるリスクが1.4倍近くになることがわかっています。(Mizoue et al. Am J Epidemiol 2008)

飲酒

研究結果
ほぼ確実

BMI(体重kg÷身長²m)は肥満度を表す体格指数です。適正なBMIは男性で21-27、女性で21-25とされています。適正値を超えると、BMIが1増加するごとに大腸がんにかかるリスクは男性で1.03倍、女性で1.02倍上昇することがわかっています。(Matsuo et al. Ann Oncol 2011)

BMI

研究結果
ほぼ確実

運動は大腸がんにかかるリスクと関連があります。特に男性の場合、日々の歩行量が1時間よりも長い人が大腸がんにかかる割合は、1時間未満の人とくらべて約0.57倍となる研究もあります。(Takahashi et al. 2007)

運動

研究結果
可能性あり

喫煙者は非喫煙者と比べ、全がんによる死亡のリスクは男性で2倍、女性で1.6倍と推計されています。(Katanoda, et al. JE 2008)

喫煙

研究結果
確実

大腸がん検診を受けていた人の、大腸がんでの死亡率は、大腸がん検診を受けていなかった人の0.28倍となっていました。(K.-J. Lee et al. 2007)

未受診

受診率の結果

28年度 9%



29年度 27%

※前年度未受診者の受診率

https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/hoken/kennsinn/p023983_d/fil/SIB-final-report.pdf

PFS事業を成功させる秘訣

- 結果を出すことができる事業者を巻き込むこと
- しかし、一般的にPFSは事業者になじまない
- いかに、事業者にとって魅力的な事業にするか
- 一般的な委託事業と比較すると手間がかかるのは必至
- であれば、何らかのメリットがあることが重要（案件規模が大きい等）

事業者にとって魅力的なPFS事業

